

はい、じゃあレッスン、第10課の文法のパート2です。10番から始めます。「何々という点から考えると」なんですけれどもこれは本当に英語の「From the perspective of、from the standpoint of 何々」という意味です。

例えば「教育という点から考えると」「from the standpoint of education」あとこんな風に「便利さ」「from the perspective of convenience」ですよ。え。「という点から考えると」「面白さという点から考えると」、それから「教育の平等」、平等は

「equality」です。「という点から考えると、現在の教育制度には問題がある。」こんな使い方します。これはそんなに問題ないと思います。これもクラスでまた一緒に練習します。

次、Sentence上になんですけれどもこれはま英語で「on top of」とか「in addition to」「besides」何々という意味なんです。例えば、「最近の子供は外で遊ばない上に」ここはいつも「plain form」です、いいですか、「外で遊ばない上に本も読まない」ですか。普通のとかナチュラルな英語で言ったら「moreover」ま本も読まない。あとこれやってみましょう。こんな風に「東京は人が多い上に」、「besides this, moreover, on top of this」「物価が高いだから住みにくい」ですね。あと「このホテルは静かな上に」、その上っていうのはこれは名詞です。だからここがなadjectiveの時には静かな上という使い方です。あと「アインシュタインは物理学者だった上に音楽家としても素晴らしかったそうです。」例えば「手塚治虫は医学白紙だった上に漫画家としても素晴らしかったそうです。」こんな使い方もあります。はい、これもまたクラスで練習します。

次12番「何々ことに」なんですけれどもこれはちょっとそのセットフレーズです。英語でもちょうど例えば「to one's regret」、「to one's surprise」こんな言い方があるんですけれども、これ「嬉しいことに」あるいは「悲しいことに」、「残念なことに」、「幸せなことに」、「驚いたことに」、こんな使い方なんですけれども、例えば「嬉しいことに、奨学金がもらえることになった」ですか。英語で「to my joy」て言うんですか。よくわかんないんですけれども嬉しいことに、悲しいことに、それから「to my sadness」というのかな。これはあのみの方でまた教えてください。それから13番も「だが」これは大丈夫ですね。これはあの英語の、ま、しかし、でも、けれども、けれど、これと全く同じものですか。でも「だが」ってのは必ず文の前に使ってください。

はい「何々に対して」この「対して」なんですけれどもいろんな意味があるんですけれどもここで勉強するのも例えば「with respect to」か例えば「いつ起きかわからない自信に対して」「with respect to」、「about」ですよ。え。「対策を考えておかなければいけない」ですか。それからま例えばこんなのをやりましょう。「日本語や中国語を勉強してアジアの国々に対する」まtowardsてんですか、あるいは「with respect to」「アジアの国々に対する見方」、見方ってのは「point of view」なんですけれども「見方が変わった。」それから「日本の歴史に対する興味」ま「interest toward Japan history」「がさらに高くなった。」こんな使い方をします。ただです対するっていうのは時々「against」の意味がありますですか。だからそれはもうコンテキストでちょっと自分で判断してください。あとこれはちょっと新しいパターンかと思います。ここいつもnon-pastで「何々することはありません」というので「There is no need for you to do such and such」なんですけれども例えば1番ちょっとこれはゆっくり見ますね。「次の電車がすぐ来るから急ぐことはありません

せん」ですか。「There is no need for us to hurry」。それから「インターネットで注文すればいいから店まで買いに行くことはない」ですかあの「you don't have to」あるいは「There is no need for you to go to the store to buy」。それそんな使い方をしますですか。それから「何々か」といってこれはですねえちょっとそのsofteningがあるんですけどもちょっと読みますね「literally means if I were to tell you who or what or when those question word etc.」という意味です。だから「in general this phrase is used to emphasize information which follows or to delay providing the information in order to keep the hearer in suspense」というそんな使い方なんですけれども、よく使うのがこの「どちらか」といってこれ「if anything」あるいは「rather」の意味があるんですけどもちょっと2番を見てください。

「私は辛い食べ物が好きだからどちらか」といって日本料理より韓国料理のが好きだ」ですか。だからもちろんここにあの他のquestion wordがあります例えば3番やりましょう。「今度のミーティングはいつですか。」「えっと今度のミーティングはいつかと言うと、あっ、来週の水曜日ですね。」これをちょっとなんいつか」といって「if I were to tell you when」といって「このメモリーはどのぐらいか」といって2GBぐらいです」かという使い方をします。はい次「それなら」もうこれは英語の本当にですかあの「in that case if so」と同じ意味です。「頭が痛いんだけどそれならすぐに寝た方がいいよ。」これはもう優しいですから次にあもじゃもうこれで終わりですね。はい、じゃあこれでパート2の方を終わります。よく勉強しておいてください。